

令和5年度 自己評価・学校関係者評価

学校法人藤原学園日本平幼稚園

学校法人藤原学園日本平幼稚園 学校関係者評価委員会

【教育理念】

自ら未来を切り開き、幸せに、しなやかに人生を歩むことが出来る人としての土台を育む

【教育目標】

「やさしい心・健やかな身体・豊かな想像力」のバランスのある成長・発達を促す。

【教育方針】

6つの生きる力を育む

～自立心（自律）、積極性、協力心、表現力、想像力（創造力）、感謝～

【本年度の重点課題】

- 1 子どもが自ら選択し、主体的に行動できる教育活動・環境設定への取り組み
- 2 小学校との接続を見据えた教育への取り組み
- 3 教師の資質向上を目的とした主体的な園内研修

【各評価】

	自己評価		学校関係者評価	
計 保 画 育 性 の	B	保育の計画は、日々の日誌や月案等により、各クラスの教師が主体となって計画を立ててきた。一方で計画はあくまでも計画として、その時々に応じた修正や改善をすることを大切にしてきた。概ね計画通りに進めることが出来たように感じている。	B	子ども達の発達に合わせて計画を作成しながら、あくまで実態に合わせて都度計画を変更しながら柔軟に対応している点が評価できる。こうしたことを今後も継続して頂きたい。
保 育 内 容	A	子どもたちに選択させるということや、大きな行事であっても子ども自身が主体的に関われる、自ら考えて参加できる工夫を行ってきた。今年度は特に行事においてそうしたことを重点に行ってきたことで、子どもたちも「自分事」として認識し、参加できたように思う。	A	子ども達にとって魅力のある、楽しめる保育や行事がたくさんありつつも、その中で一人ひとりが成長できるように配慮している点が評価できる。また今年度より行った小学校との接続事業も是非継続して欲しい。
園 対 児 応 への	A	個別に支援が必要な子について、教師の理解だけでなく、周りの子どもたちへの理解、保護者の理解を得ながら対応してきた。特に一人ひとりの得意な子と、出来ること、その役割を作ることで、インクルーシブ教育の可能性を感じる事が出来た。	A	担任だけでなく、様々な教師が子ども達に関わることで、より多角的に子どもを教育することが出来ていると感じる。今後は複数の教師が関わる場合の情報共有等、さらに向上させて欲しい。

研 修 上 の 資 質 能 力 の 研 究	B	今年度は特に園内研修の方法を変え、その目的や内容などを教師自身を出発点として考える方法で行ってきた。それぞれの教師の悩みや課題を他の教員と共有することで、解決策や新しい視点を学ぶ機会を設けたことで、教員の資質向上につながっていると感じた。	A	園内での定期的な研修や園外への研修など、積極的に教師の資質能力の向上に努めている点が評価できる。今後も様々な分野の研修を受けながら、一人ひとりの教師の資質能力の向上に努めて欲しい。
保 護 者 対 応	A	子どもの成長にはご家庭との連携が必須であることから、定期的な電話連絡やエピソードノートによる子どもの姿の共有、手紙やアプリによる連絡事項などを密に行った。年度末の保護者アンケートにおいても、多くの方から良い評価を頂くことが出来た。	A	日常での怪我やトラブル、子どもの成長した点を保護者によく伝えていると感じる。昨今は家庭の事情も様々であることから、より細やかな対応が求められるが、工夫を凝らしながら今後も対応して欲しい。
地 域 と の 関 わ り	B	いちご狩りやお茶摘み等の地域の魅力を子ども達に伝える行事を通して、積極的に地域社会と関わりを持つことが出来た。また子育て支援事業では、未就園児の親子を対象として子育て相談や季節に合わせた活動など、地域の子育てを支える事業を継続して行った。	B	園外保育等で地域との関わりがたくさんある点が評価できる。今後の学校経営においても、地域との連携は大切だと感じるので、地域の理解や協力が得られるように今後も努めてもらいたい。

A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが成果が十分でない、D：取組が不十分である。

【次年度に向けて取り組む課題】

- ・ 集団活動の中における、園児の個別の目標設定とその支援
- ・ 子どもが自ら選択し、主体的に行動できる教育活動・環境設定への取り組み
- ・ 園内研修及び指導を通じた教職員の更なる質の向上